

平成24年 1月24日

原子力政策に関する

要 望 書

函 館 市
北 斗 市
七 飯 町

大間原子力発電所にかかる要望について

平成23年3月11日に東日本で発生した、マグニチュード9.0という国内最大級の地震と巨大な津波の影響により、東京電力福島第一原子力発電所では炉心溶融などの重大な事故が発生したところであり、国では昨年12月に「事故収束」を宣言したところですが、原発はまだ不安定な部分を抱えているほか、除染や食品への放射能汚染の問題なども解決されていない状況であり、当地域においても住民の不安感が増幅してきております。

大間原子力発電所は、函館市から津軽海峡を挟み、30km足らずの地点に位置しているほか、北斗市・七飯町も50km圏内に含まれており、また商用炉としては世界で初めてMOX燃料を全炉心で使用する、非常に危険性の高い原子力発電所であるとの指摘もあることから、仮に稼働後、ひとたび福島第一原子力発電所のような事故が起きれば、当地域は存亡の危機にさらされるのは明白であります。

私たちは、大間原子力発電所のような建設中または計画中の原子力発電所については、無期限で凍結すべきであると訴えてきておりますが、福島第一原子力発電所の事故を踏まえまして、安全で安心な住民生活の確保という観点から、下記の事項について要望いたしますので、貴職におかれましては、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 大間原子力発電所に関する様々な情報については、これまで以上に積極的な開示と提供を行うこと
- 2 現在建設中の大間原子力発電所については、無期限で凍結すること
- 3 少なくとも半径30kmの範囲内の自治体の同意がなければ、大間原子力発電所の建設再開をしないこと

函館市長 工藤壽樹

函館市議会議長 能登谷 公

北斗市長 高谷 寿峰

北斗市議会議長 池田 達雄

七飯町長 中宮 安一

七飯町議会議長 横田 有一